

公表

事業所における自己評価結果 放課後等デイサービス

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス 空					公表日	令和8年 3月 31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	3	1つの部屋に集まると多少狭さを感じるが活動ごとに場所を分ける等の工夫をしている。	活動スペースを考えて支援を行うと同時に引き続き引っ越しを考え物件探しは行っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		十分に配慮出来ていると思う。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	3	遊びのスペース、学習のスペースなど分かりやすい様に工夫しており、子どもたちも把握している。 1ヶ所段差があるが、バリアフリーの必要性がある児童は在籍なし。	段差を意識し見え方の違うお子様への配慮や、環境設定を引き続き行う。又段差の少ない物件探しを引き続き行っていく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		清潔を保てるようチェック表を使用し日々の清掃が行われている。オゾン発生器を設置し、感染症対策をしている。 ビジョントレーニングのゲームなど種類が多く手に取りやすい。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		学習室、カームダウンルーム等、用途に応じて設けられている。 好きな場所を自分で選んで過せるよう配慮している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		それぞれがトライ&エラーを繰り返しながら業務改善しようとしている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		意見の集約・共有・改善案の話し合いを行っている。 毎年評価表を配布し、頂戴したご意見はその後の支援に活かしている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		朝礼や月1回の職員会議等で意見を出し合う事で業務改善に繋げている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	3		第三者の設定は今後視野にいれていく。 事業所訪問者による気づきやご意見はきちんと受入れ改善に努める。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		月1回職員会議及びOJTを実施している。各自で積極的に外部研修も受講している。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		作成しHPで公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		毎回アセスメントをとり、それを個別支援計画へ反映している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		支援に携わる職員で会議を行ったうえで作成している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		いつでも確認できるようにしている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		それぞれの個人記録を作成し、記載するようにしている。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		計画書に盛り込み作成している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		職員の意見やアンケートで保護者の意見も取り入れながら計画している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		職員間でしっかりと話し合い、創意工夫を重ねていると思う。 子ども達が楽しく参加できるプログラムを組み立て、飽きないよう工夫しながら行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		児童の目標に合わせて組み立てを行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		毎日の朝礼で確認し業務にあたっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	時間がない時でも報連相を徹底し、気付いた点や報告事項は共有している。	支援終了後に非常勤職員も含め全員が揃わない場合もある為、翌朝の朝礼又は当日中に共通LINEにて共有する。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		毎日支援記録を作成し次の支援に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		半年に1度保護者面談を実施し、適切な見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9		①自立支援と日常生活の充実のための活動 ②創作活動 ③地域交流の機会の提供 ④余暇の提供 複数の組み合わせを意識して支援にあたっている。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		エスパー(先読み)し過ぎに気を付け児童が自己決定自分の意見を発表しやすい様に環境を整え職員が促しを行っている。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		管理者、児発管が主として参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		学校や他事業所との連携や受診同行等で連携をとるようにしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		主に担任の先生と情報共有している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9		情報共有を行い日々の様子や気を付ける事などを理解している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9		対象者が今までいなかったが必要あれば行うことと認識している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	1	今まで実施の機会は無いが必要あれば行うことと認識している。	必要に応じて対応していく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9		活動内容によって関わる機会を設けている。活動の中で地域の子どもに参加してもらった。	戸外活動において、公共の施設の使用やイベントに地域の子供を招いて共に運動療育を行った。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。		9	今のところ参加なし。今後は取組みたいと思っている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	9		送迎時や電話・ライン等でこまめに情報共有を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	1	一部の保護者には行っているが全体への案内は少ないが、必要な保護者の方へ情報共有や助言等を行っている。保護者会や遠足などでふれあう機会を行っている。	ペアレントトレーニングと銘をうち開催はしていないが、日々保護者様からの相談に対し助言やアドバイスをを行っている。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		保護者面談時にきちんと説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		保護者や本人のニーズを聞き、計画に活かすようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		半年に一度保護者面談を行い説明を行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		相談がある際はその都度時間を設け、助言等を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	9		親子遠足やバザー、保護者会など保護者やきょうだいが参加できる機会を設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		今まではないが苦情受付の体制は整えており、きちんと対応するようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		空通信やホームページ(ブログ・フォトギャラリー)で定期的に発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		職員一人ひとりが気を付けていると認識している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		メモパットや音声ツールを適宜使用している。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9		活動によって地域の方々に呼びかけを行っている。近所の方との交流がある。		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		マニュアル本を職員がいつでも確認できるようにしている。ご家族には契約時にご説明・周知を行い、訓練は年2回実施している。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		BCPを策定し定期的に避難訓練等を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		保護者に情報を頂き服薬が必要な児童には適切に取り扱っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		保護者に情報を頂くようにしている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
非常時等の対応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		計画書を作成し、安全に配慮して支援を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		いつでも保護者と連絡がとれる体制を整えている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		ヒヤリハットの報告書を作成している。 職員会議等で作成・報告・共有し再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		虐待防止研修を実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		保護者にきちんと説明を行っている。	